

報告第8号

令和4事業年度

決 算 報 告 書

一般財団法人 対馬地域商社

## 令和4年度事業経過報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度も、新型コロナウイルス感染が繰り返されましたが、10月からの全国旅行支援事業の実施により人や物の移動が徐々に活性化し、全国各地でのイベント等の開催も従来の姿に近い状況となり、厳しい状況下に置かれておりましたが、明るい兆しが見え始め新年度への希望が持てる年となりました。

このような社会情勢の中、令和4年度の事業計画に基づき経営基盤の強化、業務の効率化、人材育成の重点課題に取り組みました。経営基盤の強化については主要原料の確保に努め、漁協と連携したことで剣先いかの仕入は最低限確保できましたが、仕入価格の高騰により目標値には至らず、前年並みの安定的な売上の確保につなげることができませんでした。業務の効率化については、前年度に確立した小あじの加工時間の大幅な短縮により、人件費等の経費節減を継続しております。一方、人材育成については20代～40代の次代を担う職員採用を目標としてハローワークで開催された「ジョブサポート」面談会への参加や、民間求人ウェブサイトの「バイトル」へ掲載し数人面談を実施しましたが採用に至りませんでした。

経営状況につきましては、主力商品のあなご、あじ、剣先いかの原料仕入が前年に比べ9%～21%下回ったことで目標を達成することができませんでした。中でも剣先いかの仕入は前年の21%減となったため、需要の多い一本凍結の売上が24%減の結果となり売上に大きく影響しましたが、あじの売上は堅調で前年を25%上回ることができました。結果として目標額の122,000千円は達成することができず令和3年度の実績109,034千円にわずかに及ばない108,004千円の売上となりました。

令和4年度は当期純損失655,451円となりましたことを報告いたします。

対馬地域商社事業内訳は次のとおりです。

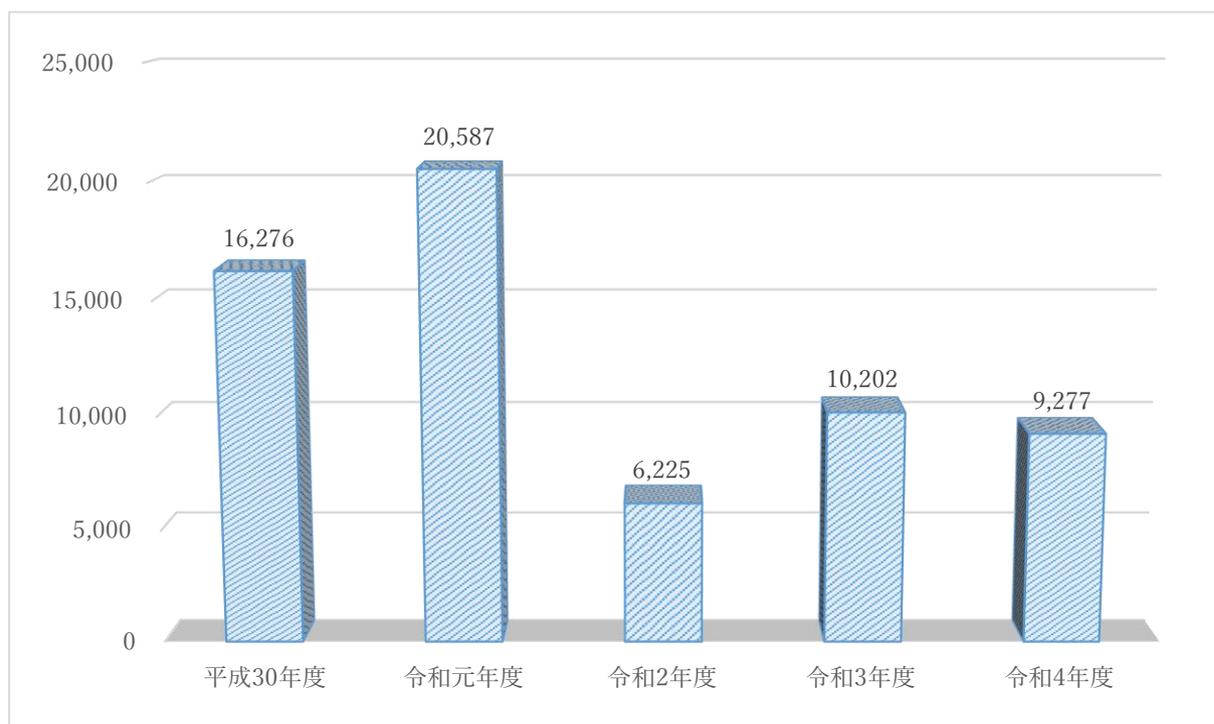
### 【原料仕入】

主要原料のあなご、あじ、剣先いかの仕入実績ですが、あなごは令和3年度の10,202kgに対し9.1%減の9,277kgを仕入れております。あじは需要の状況を見据え、前年度の在庫もあったことから令和3年度の19,965kgに対し13.0%減の17,370kgの仕入にとどめております。剣先いかは前年度からの地元漁協との連携により、一本凍結のための仕入を続けてきましたが、価格の高止まりにより安定した仕入ができなかったことから、令和3年度の144,191匹に対して21.3%減の113,426匹の仕入にとどまりました。

主要原料の仕入状況は次のとおりです。

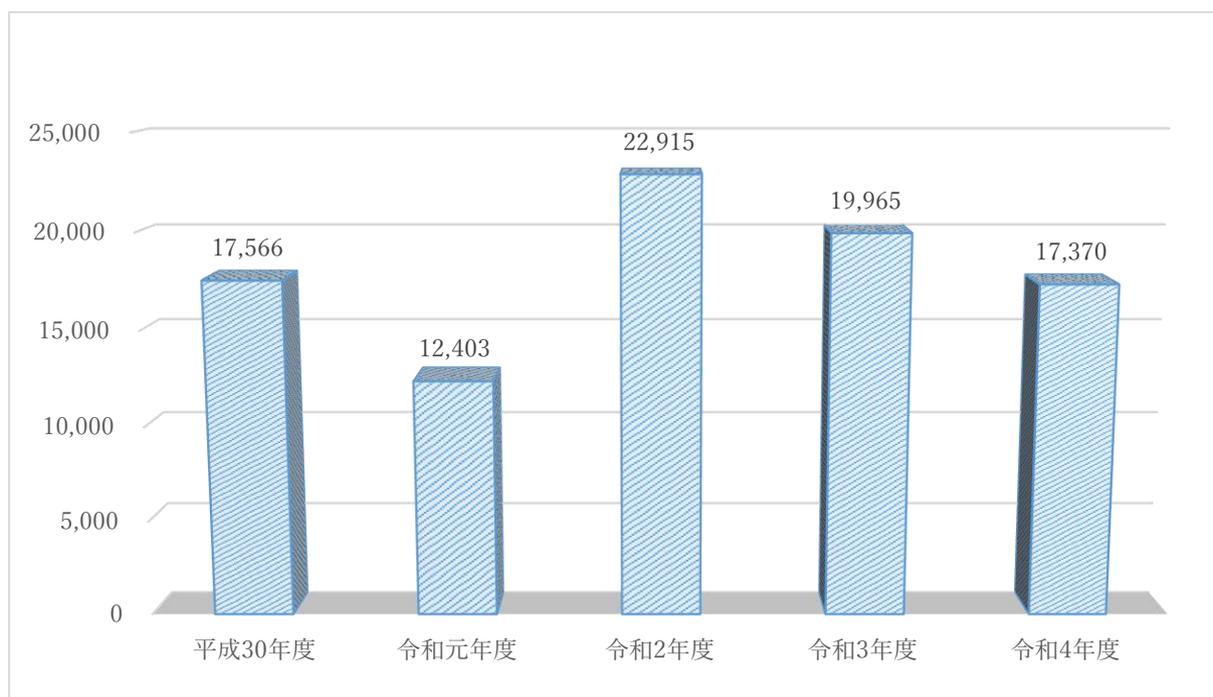
原料別仕入推移状況（あなご）

単位：kg



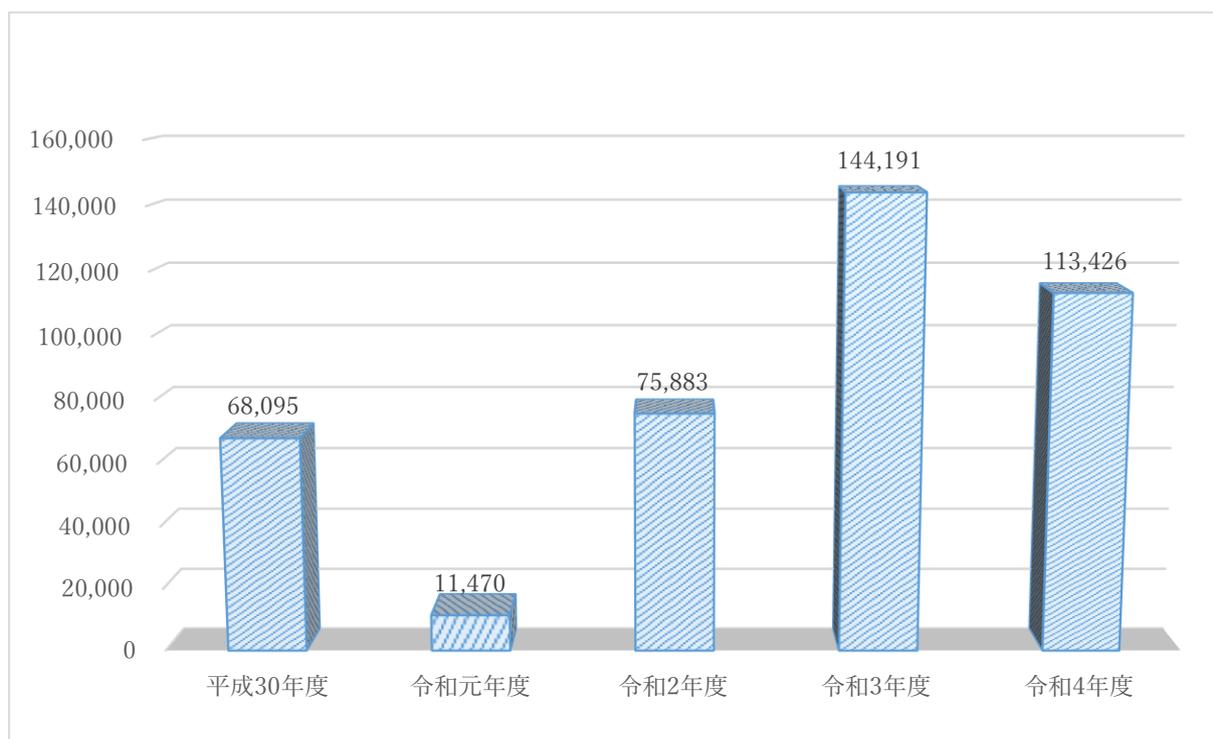
原料別仕入推移状況（あじ）

単位：k g



原料別仕入推移状況（剣先いか）

単位：匹



## 【売上状況】

売上状況は、加工作業の効率化や、生産コストの削減による利益率の改善や主要原料の安定的な確保に努め、得意先への販売強化を行ってまいりました。

コロナ禍の影響でライフスタイルが変化し、インターネット販売やカタログ通信販売等の宅配サービスでの需要が高まる中で、ふるさと納税返礼品の売上増加や新規取引先の開拓等により売上を確保することができました。

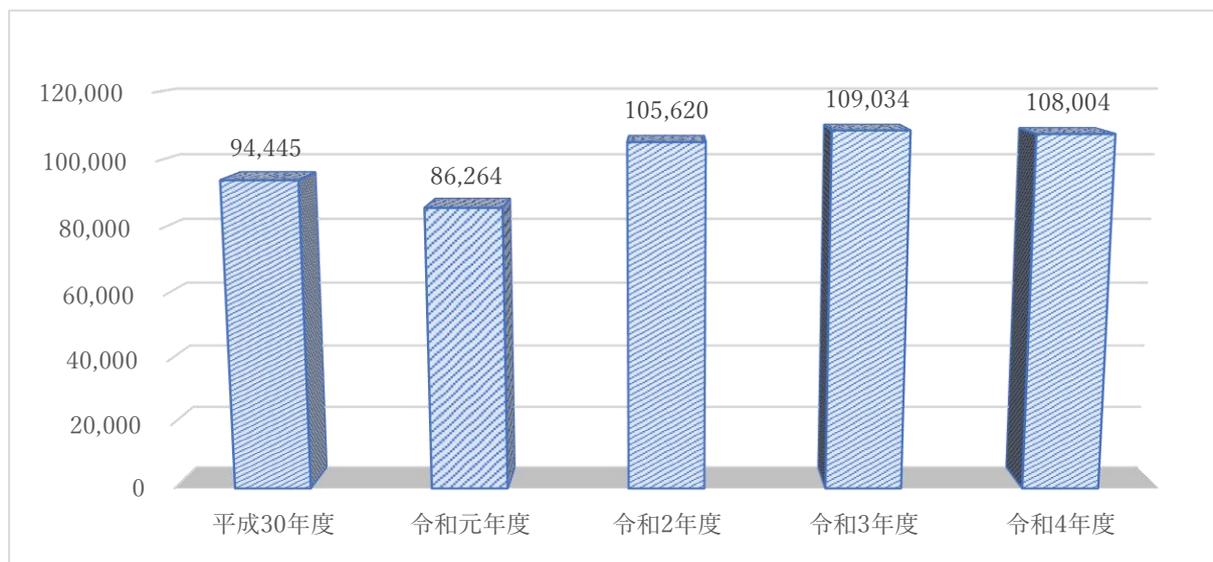
一方で、前年度は堅調であった剣先いかの原料確保が安定してできなかったため、一本凍結の販売量が減少し、本年度の売上高は108,004千円で対前年度比99.1%という結果になりました。

①加工場製造販売	83,310千円	前年度対比	95.3%
②ギフトふるさと納税業務	11,692千円	前年度対比	134.1%
③とよたま物産店	13,002千円	前年度対比	100.6%

年度別売上状況及び主要原料のあなご、あじ、剣先いかの魚種別売上状況は次のとおりです。

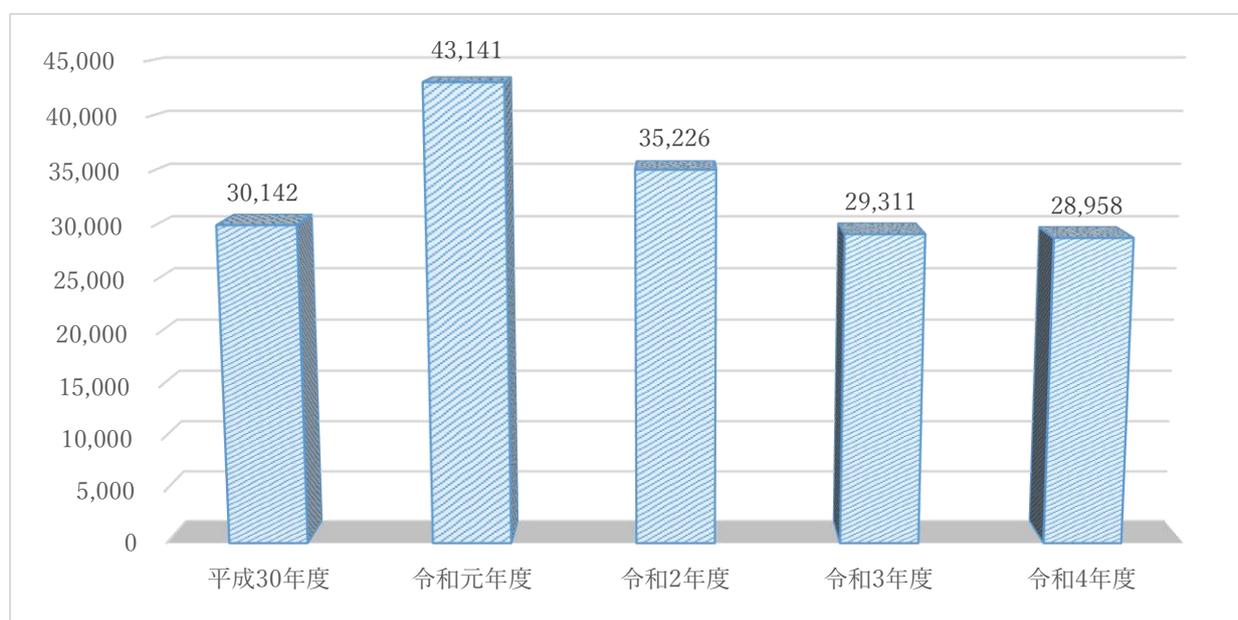
年度別売上推移状況

単位：千円



原料別売上推移状況（あなご）

単位：千円



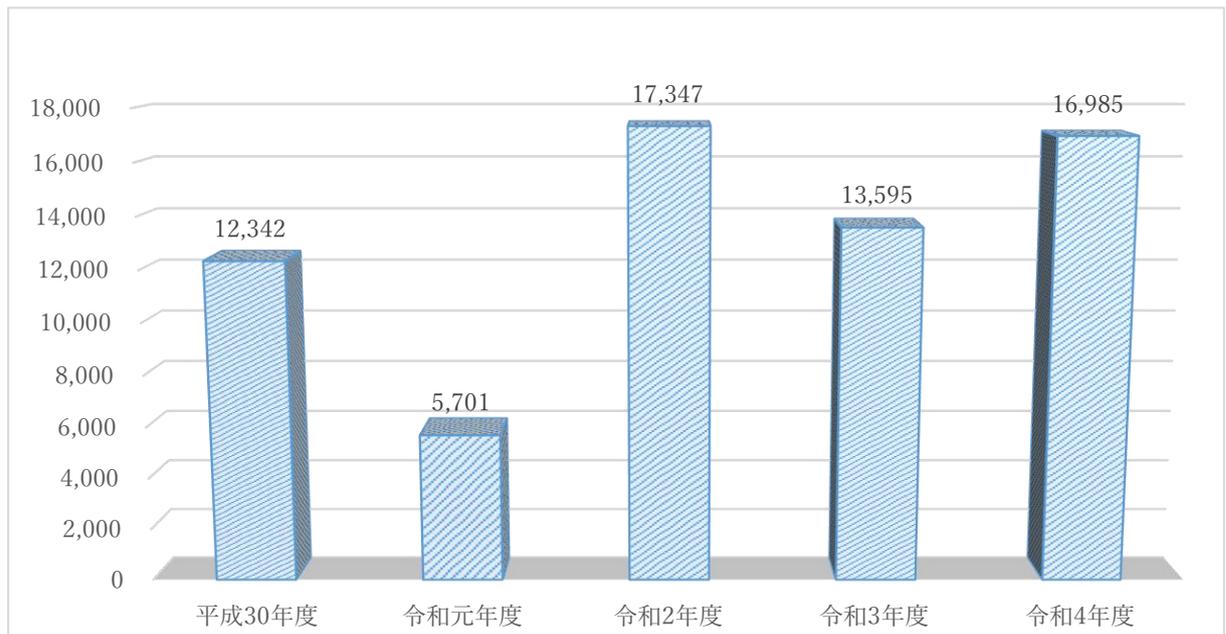
原料別に見るとあなごについては、あなご開き、煮あなごなど定番商品の受注はほぼ横ばいであり、商品につきましては鮮度にこだわった加工に高い評価をいただいております。

また、第60回長崎県水産加工振興祭に新商品として、あなごを活かして干した「星あなご」を出品し水産庁長官賞を受賞いたしました。今後は、定番商品はもとよりイベント等で人気のある「煮あなご膳」やおいしさが認識されはじめ需要が高まってきている刺身用商品と併せて販売強化の一アイテムとして活用していきたいと考えております。

令和3年度売上高29,311千円に対して1.2%減の28,958千円となりました。

原料別売上推移状況（あじ）

単位：千円

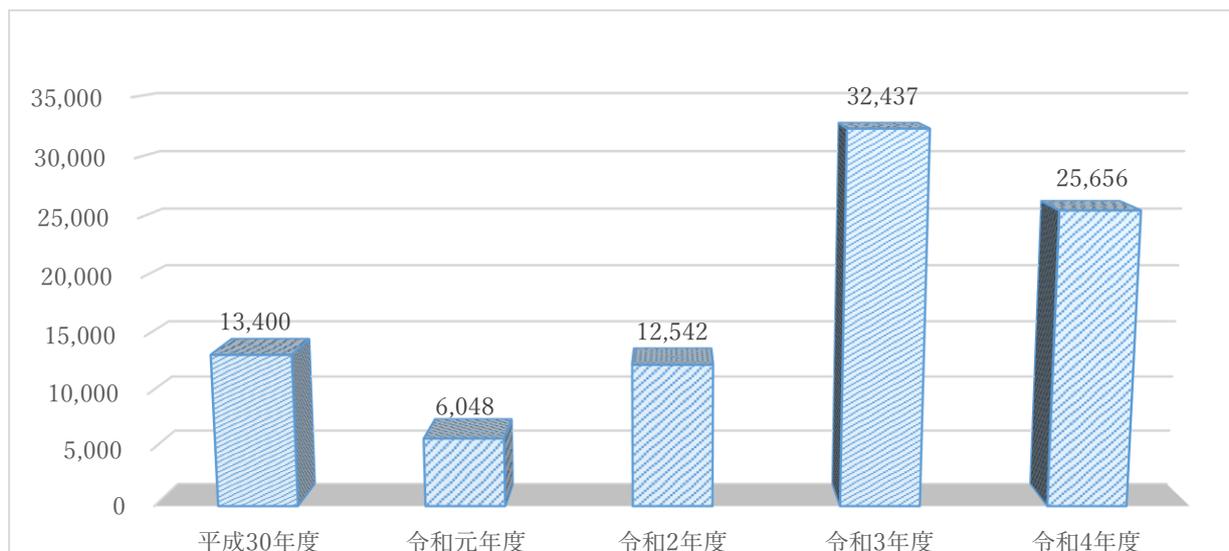


あじ商品につきましては、長崎県漁連帳合の生協などへの納品が主体であり、令和3年度に比べて売上が増加しております。

令和3年度の13,595千円に対し24.9%増の16,985千円の結果となりました。

原料別売上推移状況（剣先いか）

単位：千円



剣先いか商品につきましては、地元漁協との連携により、いか一本釣漁業者と定置網漁業者から原料の仕入れを行っており、主力商品は一夜干しと刺身用の一本凍結です。前年度は安定した原料の仕入れができたことで大幅に売上を伸ばすことができましたが、今年度は仕入価格の高騰で、安定した仕入れができなかったことから、売上が減少いたしました。

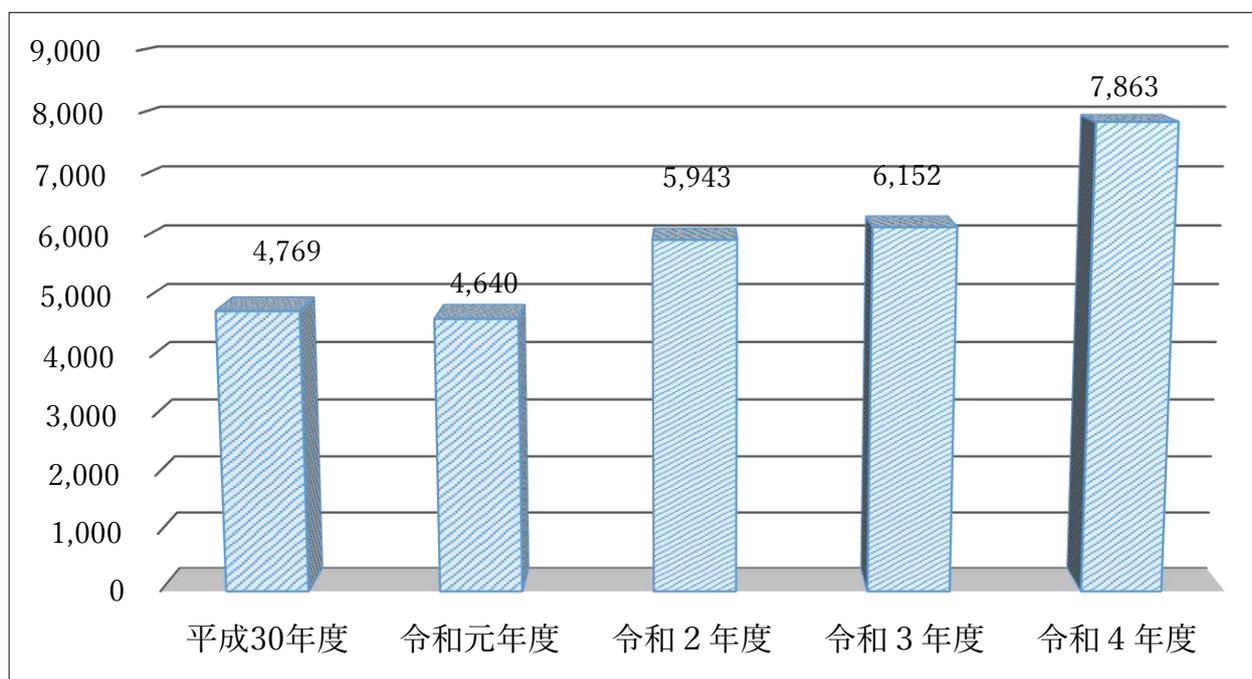
令和3年度の32,437千円に対し20.9%減の25,656千円の売上結果となりました。

## ○ふるさと納税

ふるさと納税につきましては、煮あなご膳セット、煮あなご膳・刺身セット、活アなごセット等のあなご製品と活ア島魚セットは微増の状況でしたが、クエ鍋セットは少量化を図ったことでお客様がお求めになりやすい納税額になり、多くの皆様の受注をいただきリピーターも増加いたしました。また、前年度から好評をいただいているするめいか一夜干しセットは、売上を2倍以上に伸ばすことができました。しかしながら、原料のスルメイカの価格高騰のため仕入が思うようにいかず、さらなる売上を伸ばすことができなかったことは、今後の課題であると考えております。

年度別売上推移（ふるさと納税）

単位：千円



## ○とよたま物産店

とよたま物産店につきましては、蜂蜜、塩うに等の地場製品の仕入を強化し季節感のある魅力的なギフト商品の提案や、地域の特徴を活かした話題性のあるイベント等の実施により、前年度の実績は上回ったものの店舗として売上目標15,000千円は達成することができませんでした。

地場製品につきましては、「とよたま物産店だより」やオンラインショップのサイトで情報発信を行い販売してきました。対馬産蜂蜜の生産量も回復し、売上も順調に伸ばすことができました。塩うには生産量が減少したことに伴い売上は大幅に減少しております。カジメに関しては壊滅状態で、仕入が全くできませんでした。また、令和4年度の新たな取り組みとして、漁獲の状況で安定して催すことはできませんが毎週土日を「お魚デー」と称して鮮魚をお求めになりやすい価格で販売し、お客様にはご好評をいただいております。今後は、魚種を増やすなど多くの皆様にご愛顧いただきますよう試行錯誤していきたいと考えております。

主な地場製品としては、米、とんちゃん、椎茸、塩うに、海藻類などの農林水産物と地酒類も販売しております。また、今年度より、未利用魚であったバリ（アイゴ）の有効活用に着手しバリカツとして産業祭等に出店し、物産店においても販売しております。

### 【まとめ】

令和4年度は、剣先いかの仕入が前年のように順調にいかなかったことから売上を伸ばすことができませんでした。原料確保において、地元漁協との連携は良好な状態を維持できておりましたが、仕入価格の高騰に対応できず需要はあるものの、計画的な仕入ができないままシーズンを終えた状況です。

また、加工場運営におきましては前年に行った生産ラインの見直しにより、小あじ加工の生産コストの削減を継続しております。

販路開拓につきましては、コロナウイルス感染拡大防止のための制限も緩和され、市内の他社商品もとりまとめながら、東京や福岡の展示商談会に参加出展し

新規取引につなげることができました。

地場産品につきましても、百貨店やふるさと物産まつり、オンライン商談会等で販売やPRを行ってきました。今後も、対馬観光物産協会や県市の関係部局と連携を図りながら島外物産展や百貨店等への出店を積極的に行い、オンライン商談等を有効に活用し、商社として市内の他社商品も取り扱いながら事業展開していきたいと考えております。

**貸借対照表**  
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	20,054,775	20,690,715	54,775
売掛金	8,839,626	7,525,485	1,314,141
未収金	149,928	9,339,590	△ 9,189,662
商品	10,369,830	10,005,865	363,965
貯蔵品	4,665,938	2,619,725	2,046,213
前払費用	17,346	47,781	△ 30,435
未収戻付税金	844,600	2,100	842,500
貸倒引当金	△ 88,000	△ 75,000	△ 13,000
立替	0	0	0
流動資産合計	44,854,043	50,156,261	△ 4,611,503
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(3) その他固定財産			
建物	372,265	420,371	△ 48,106
建物付属設備	96,194	114,686	△ 18,492
構築物	1	1	0
機械装置	5	5	0
車輻運搬用具	0	0	0
工具器具備品	9,057	11,316	△ 2,259
その他固定資産合計	477,522	546,379	△ 68,857
固定財産合計	5,477,522	5,546,379	△ 68,857
資産合計	50,331,565	55,702,640	△ 5,371,075
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	1,588,519	1,751,940	△ 163,421
短期借入金	9,000,000	9,000,000	0
未払戻り	1,997,250	1,806,263	190,987
未払法人税等	720,629	364,519	356,110
未払消費税	40,500	81,900	△ 41,400
未払消費税	568,100	1,626,000	△ 1,057,900
流動負債合計	4,914,998	14,630,622	△ 9,715,624
負債合計	4,914,998	14,630,622	△ 9,715,624
<b>III. 正味財産の部</b>			
地方公共団体助成金	0	0	0
指定正味財産合計	5,300,000	5,300,000	0
(うち基本財産への充当額)	△ 5,000,000	△ 5,000,000	0
2. 一般正味財産	35,116,567	35,772,018	△ 655,451
正味財産合計	40,416,567	41,072,018	△ 655,451
負債及び正味財産合計	45,331,565	55,702,640	△ 10,371,075

**正味財産増減計算書**  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
売上高	108,003,589	109,033,604	△ 1,030,015
受取入金補助金	9,285,835	16,549,190	△ 7,263,355
受取地方公共団体補助金	9,285,835	16,549,190	△ 7,263,355
出雑受取	0	0	0
受取利息	898,428	754,636	143,792
受取手数料	355	394	△ 39
その他の雑収	839,462	694,193	145,269
経常収益計	58,611	60,049	△ 1,438
(2) 経常費用	118,187,852	126,337,430	△ 8,149,578
事業費	110,910,345	110,309,897	600,448
仕給料	53,934,632	56,888,855	△ 2,954,223
法定福利厚生費	28,462,267	26,441,125	2,021,142
旅交費	5,014,977	4,312,566	702,411
広通運減消修保水車り地損租負支支雑	139,570	82,237	57,333
通運減消修保水車り地損租負支支雑	52,710	51,349	1,361
通運減消修保水車り地損租負支支雑	2,398,037	2,503,923	△ 105,886
通運減消修保水車り地損租負支支雑	383,752	141,060	242,692
通運減消修保水車り地損租負支支雑	347,574	400,391	△ 52,817
通運減消修保水車り地損租負支支雑	4,189,712	4,050,821	138,891
通運減消修保水車り地損租負支支雑	68,857	67,376	1,481
通運減消修保水車り地損租負支支雑	2,009,176	1,403,263	605,913
通運減消修保水車り地損租負支支雑	525,857	1,020,060	△ 494,203
通運減消修保水車り地損租負支支雑	0	37,521	△ 37,521
通運減消修保水車り地損租負支支雑	9,707,519	9,300,398	407,121
通運減消修保水車り地損租負支支雑	777,132	703,142	73,990
通運減消修保水車り地損租負支支雑	865,342	667,130	198,212
通運減消修保水車り地損租負支支雑	240,000	240,000	0
通運減消修保水車り地損租負支支雑	248,598	245,928	2,670
通運減消修保水車り地損租負支支雑	119,871	121,006	△ 1,135
通運減消修保水車り地損租負支支雑	95,000	80,000	15,000
通運減消修保水車り地損租負支支雑	1,171,896	928,917	242,979
通運減消修保水車り地損租負支支雑	0	132,386	△ 132,386
通運減消修保水車り地損租負支支雑	44,822	49,703	△ 4,881
通運減消修保水車り地損租負支支雑	100,044	410,739	△ 310,695
通運減消修保水車り地損租負支支雑	13,000	30,000	△ 17,000
通運減消修保水車り地損租負支支雑	0	1	△ 1
通運減消修保水車り地損租負支支雑	7,851,908	7,682,488	169,420
通運減消修保水車り地損租負支支雑	5,828,393	5,491,104	337,289
通運減消修保水車り地損租負支支雑	1,042,327	1,130,216	△ 87,889
通運減消修保水車り地損租負支支雑	14,398	9,989	4,409
通運減消修保水車り地損租負支支雑	21,600	0	21,600
通運減消修保水車り地損租負支支雑	2,044	0	2,044
通運減消修保水車り地損租負支支雑	17,250	17,682	△ 432
通運減消修保水車り地損租負支支雑	0	0	0
通運減消修保水車り地損租負支支雑	215,750	250,167	△ 34,417
通運減消修保水車り地損租負支支雑	35,306	35,653	△ 347
通運減消修保水車り地損租負支支雑	28,171	18,774	9,397
通運減消修保水車り地損租負支支雑	221,000	221,000	0
通運減消修保水車り地損租負支支雑	100,000	100,000	0

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
租 税 公 課	14,350	10,200	4,150
負 担 金	29,000	129,000	△ 100,000
支 払 手 数	208,041	196,562	11,479
雑 費	74,278	72,141	2,137
経常費用計	118,762,253	117,992,385	769,868
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 574,401	8,345,045	△ 8,919,446
評価損益等計		0	0
当期経常増減額	△ 574,401	8,345,045	△ 8,919,446
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固 定 資 産 圧 縮 損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 574,401	8,345,045	△ 8,919,446
法人税、住民税及び事業税	81,050	1,770,955	△ 1,689,905
当期一般正味財産増減額	△ 655,451	6,574,090	△ 7,229,541
一般正味財産期首残高	35,772,018	29,197,928	6,574,090
一般正味財産期末残高	35,116,567	35,772,018	△ 655,451
II. 指定正味財産増減の部			0
受 入 補 助 金	0	0	0
受入地方公共団体助成金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,300,000	5,300,000	0
指定正味財産期末残高	5,300,000	5,300,000	0
III. 正味財産期末残高	40,416,567	41,072,018	△ 655,451

## 財産目録

令和5年 3月31日現在

収益事業等会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金		手元保管	運転資金として	311,827
預金		普通預金		14,742,948
		十八親和銀行1		9,845,365
		長崎県信漁連		575,685
		対馬農協		26,587
		郵貯銀行		506,162
		郵便振替口座		143,073
		十八銀行3		3,646,076
		十八銀行5		0
売掛金				8,839,626
未収金				149,928
商品				10,369,830
貯蔵品				4,665,938
前払費用				17,346
立替金				0
貸倒引当金				-88,000
未収還付法人税等				844,600
<b>流動資産合計</b>				<b>39,854,043</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
定期預金				5,000,000
<b>その他固定資産</b>				
建物				372,265
建物附属設備				96,194
構築物				1
機械装置				5
工具器具備品				9,057
<b>固定資産合計</b>				<b>5,477,522</b>
<b>資産合計</b>				<b>45,331,565</b>
<b>(流動負債)</b>				
買掛金				1,588,519
未払金				1,997,250
対馬農協				1,900
博多海陸運送				53,615
ヤマト運輸				24,947
対馬市水道局				48,090
國分石油				15,876
佐川急便株				133,111
九州電力				641,526
NTT西日本				15,173
対馬システム				8,514
モノタロウ				4,497
長崎県南年金事務所				737,019

	リコー			210,100
	長崎県対馬病院			102,882
	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金			720,629
	社会保険料・厚生年金保険			719,829
	商品誤入金			800
	未払法人税等			40,500
	未払消費税等			568,100
	流動負債合計			4,914,998
	負債合計			4,914,998
	正味財産			40,416,567

## 監査結果報告書

一般財団法人対馬地域商社定款第 23 条 1 項の規定により  
監査した結果、その内容は適当と認めます。

一般財団法人 対馬地域商社

代表理事 國 分 利 雄 様

令和 5 年 5 月 19 日

監 事 平 山 秀 樹   
監 事 古 藤 俊 泰 